

# 本年度の研究重点目標

- 学ぶ楽しさを実感し、学び続けるための「確かな学力」を育む教育の推進
- 命の尊さやふるさとの大切さを自覚し、共に生きるための「豊かな心」を育む教育の推進
- 体を動かす楽しさを体感し、たくましく生きるための「健やかな体」を育む教育の推進

<三教研生活部の研究テーマ>

自らの生活を切り拓く  
子ども

子どものつぶやきに耳を傾け、  
対話を大切にして、  
思考を深める授業

<次期学習指導要領の目標>

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技術を身に付けるようにする。

(2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

(3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

研究主題

## 『自らの生活を切り拓く子ども』

—子どものつぶやきに耳を傾け、対話を大切にして、思考を深める授業—

— 研究の重点目標 —

- 子どもの思いや願いを大切にしたい単元構成を工夫する。
- 学校や地域の特色を生かし、多様な人や社会・自然と繰り返し関わり、協同的に学ぶことができるような活動を組織する。
- 自然の不思議さや面白さ、生命の尊さを実感する活動を取り入れる。
- 見つけたり、比べたり、繰り返したり、試したりできる材料や道具、場づくりなどの環境を整える。
- 子どもの行動に目を向け、つぶやきに耳を傾け、積極的に対話をして、思いや考えを引き出す。
- 友達や他の人の考えを聞いたり、交流したりする場を設定する。
- 評価規準に基づき、子どもの成長を見取り、支援に生かすことのできる評価を行う。
- 幼児期の教育、及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるように、単元構成や指導方法を工夫する。